



《グループ討議》 横田 南嶺 管長

Aグループ

- ・不機嫌は怠惰
- ・食事五観文
- ・願いを持って生きる

Bグループ

- ・不機嫌は怠惰
- ・我を捨てる
- ・日常が大事

Cグループ

- ・初々しさ

Dグループ

- ・調五常 姿勢
- ・日常の実践

Eグループ

- ・どんな人でも自分より立派だと思い接する
- ・食事五観文
- ・不機嫌は怠惰
- ・不機嫌は怠惰
- ・どんなことに出会っても仏様だと思う
- ・一日不作 一日不食

Fグループ

- ・不機嫌は怠惰
- ・願いを持つて生きる
- ・感情を波立たせず思考力を正しく働かす

◆不機嫌は怠惰  
不機嫌な顔は怠惰  
この感想が多くありました。



## 人間学塾・中之島 読書会

A グループ

○テキスト 「一語一會」 2月

○指導 近藤 宏枝 世話人  
○進行 西村 俊幸 世話人  
○参加者 22人

二月三日

ハガキの活用度のいかんによって、その人の生活の充実さ加減が測定できるといえよう。

二月六日

何といってもまず偉人の伝記を読むがよいでしょう。そして進んでは、その偉人をしてそのような一生をたどらせた、眞の内面的動力はいかなるものであったかを、突き止めるということでしょう。

二月二十日

人間下坐の経験のなきものは、未だ試験済みの人間とは言ふを得ず。唯の三年でも下坐の生活に堪え得し人ならば、ほぼ安心して事を委せうべし。

二月二十四日

物事は一おう八十点級の出来映えでよいから、絶対に期限に遅れないこと。これ世に処する一大要訣と知るべし。

一月二十六日

人生は一生のうち逢うべき人には必ず逢える。  
しかしも一瞬早すぎず、一瞬遅すぎない時に――。

B グループ

○テキスト 「ありがとうございます」  
151~170

○指導 中川千都子 代表  
○進行 山路直美 世話人  
○参加者 20人

#### (四) 無限の無限の安らぎが一杯

151

人生の真の目的は、本心開発（真実の悟り）です。何事をしていても、本心開発に繋がらないものは、間違った道に迷い込んで、時間の無駄遣いをしているのです。一刻も早くそのことに気付かなければならぬのです。

154

「ありがとうございます」という祈り言葉が保持している根本の言霊には、天照大御神（宇宙絶対統一神）そのものなのです。その中の「が」についてですが、「か」（輝き）+「か」（輝き）=「が」（輝きに輝く）を意味していて、神さまの奥深さ（重層構造）を強調しています。

162

今どのような運命・境遇・環境に置かれていても、本心の心（謙虚な心・感謝の心）を生きようとすれば、すべてをプラスにプラスに受け入れていくことができるのです。

「百萬典經日下燈（ひやくまんてんきょうにつかのとう）（実践の伴わない知識無し）」

令和七年一月二日、とうとうお別れの日がやつて来てしまいました。鍵山秀三郎先生とのお出合いは、もう三〇年以上前になりますが、それは先生の「掃除道」とのお出合いでした。初めて参加した「実践人の家・夏季研修会」にて、福永道子先生が参加者の有志の女性を集め、研修会場のトイレ掃除実習をして下さったのでした。素手で磨くトイレ掃除は初めてで、この時の情景が今でも浮かんでまいります。そしてその翌々年「実践人の家・四国地区研修会」高知大会で講師としてご登壇頂き、初めて鍵山先生とお目見えすることが出来たのです。それからご縁は途切れることなく続き、「天分塾」「人間学塾・中之島」の常任講師として、毎年ご講話を拝聴致しました。更には平成二十四年には「四国中央掃除に学ぶ会」の発会式にお越し下さり、先生のご案内役を仰せつかつた私は、身近でそのお姿に触れ、学ぶことが叶つたのです。

重ねて何より「人間学塾・中之島」では特別の思い出があります。それは横田南嶺管長様が初めてご登壇下さった第二期でのことでした。その年の初めにはいつものように鍵山先生は、講師としてご登壇頂いていたのですが、その三か月後の管長様のご講話の日にも中之島に足を運ばれたのでした。この日は、今北洪川老師著『禅海一瀾』のお話です。

この本は、鍵山先生が恩師から授けられた大切な一冊でした。最前列で寺田一清先生と並んで拝聴されたのですが、私はお二人に挟まれて座らせて頂くという幸せに浴してました。鍵山先生の熱心にメモを取られる凛としたお姿と息遣いを、すぐそばで感じていました。更にはこの時先生が管長様を「清澄のお方」と称せられたお言葉を、直にお聴きすることとなつたのでした。

全ては寺田一清先生のお陰と、手を合わせるのみなのです。

# 聴講生の皆様へ 人間学塾・中之島へのお誘い



本日は人間学塾・中之島へ講座にご参加いただきます。人間学塾・中之島は第13期を迎えております。前「人身で々志學」、「天分」、「念々心願」、「念々感謝」のもとに、一流講師陣の講義や先哲・先師に、そして塾生がお互に学びあっています。この「非日常空間」をご一緒しませんか。途中入塾・歓迎します。

一流講師の講演

参加型構成

手頃な受講費

- ◆開講日時：原則毎月第2土曜日 13:00～17:00 ◆研修会場：大阪大学中之島センター
  - ◆宿泊研修：毎年2回程度 ◆内容：講師の講義、グループ討議、塾生講話／読書会 など
- ※会場・日程、講師及び内容が変更になる場合があります。 詳細は塾生募集案内参照



高野山



伊勢神宮・内宮

足さ切をて しま修あ てとわ  
りをさひい不まで行のさてうれ一編  
ま実をきる機しがに栗ていごて月集  
せ感実「自嫌た」つ山「たざいは後  
んと感改分な」。そい監二のいま行記  
°言しめが顔日のて督月にますく、  
つまていを常日おがはす。  
てし日ましそ常話修横全つニ  
おた常すしが頂行田くとい月  
い。°いてまさされ嶺速つ前げ  
て何大久るこしさまれた先さつに、  
・度切し瞬くしたこ生に、「  
・もさぶ日間修。とて驚新あ三  
ま度あにを修でき中たばのまは  
だもも本を行起をしく年け月  
ま日り格ろなるかに今りか誓し去  
だ々ま的そのとら、回いでおる  
修のえなかで、実寝禪はす。をめと  
行大の風にす。感るの、す。立て言  
が切大邪し。

編集長  
西村俊幸

読書感想文のご提出ありがとうございます。  
なお、字数が超過の場合などは、適宜、編集を  
加えている旨、ご了承ください。

編集部からのお知らせ

**4月は宿泊研修です**  
**日時 令和7年4月12日(土)～13日(日)**

**<第1日目>**

- ◆会場 朴の森 (山口県)
- ◆講師 鍵山幸一郎 先生

テーマ

「父、鍵山秀三郎より学んだ、  
後世に伝えたいこと」

**<第2日目>**

松陰神社等、先哲の地を訪う



《人間学塾・中之島》次月案内